



陸上800mで世界へ大きく前進！  
薄田 健太郎 日本歴代5位

深沢こころ 全日本種目別優勝  
世界体操代表入り 



日本選手権 800m準優勝



段違い平行棒  
14点台で優勝！

写真：松尾/アフロスポーツ



関東インカレ4連覇！  
高良 彩花

日本選手権 走幅跳準優勝

写真：(左上)西村尚己/アフロスポーツ、(左下)長田洋平/アフロスポーツ

## TOPICS

- 【体操】ラート世界選手権 堀口文(体育系)直転優勝&山田光穂(院2)と共に団体銀メダル獲得!
- 【男子ハンド】春季リーグ優勝! MVPに佐藤陽太(体育4)
- 【ラグビー】春季大会 負け無しでBグループ優勝
- 【硬式庭球】関東学生トーナメント 田中佑(体育1)優勝
- 【女子ソフトボール】本学初のインカレ出場権獲得
- 【硬式野球】石毛大地(体育3)リーグ首位打者&ベスト9
- 【AD】筑波大生による筑波大生のためのホームゲーム開催



【柔道部】関東学生柔道優勝大会 男子優勝・女子準優勝

## 男子アイスホッケー

秩父宮杯第69回関東大学選手権大会  
第4位 (Bグループ)

## アメリカンフットボール

### 春季オープン戦

●筑波大 3 - 42 ○学習院大

## 弓道

### 第52回全関東学生弓道選手権<決勝>

男子団体	第3位
女子団体	2回戦敗退
男子個人	稲葉 侑真 (体育1) 第10位
女子個人	高田 実怜 (体育4) 第4位



## 剣道

### 第68回関東学生剣道選手権大会

黒川 雄大 (体育4)	第3位
原田 光 (体育3)	第3位
大平 翔士 (体育4)	ベスト16
阿部 壮己 (体育4)	ベスト16
田城 徳光 (体育3)	ベスト16
重黒木 祐介 (体育4)	5回戦敗退

\*上記6名が全日本学生選手権の出場権獲得

### 第54回関東女子学生剣道選手権大会

齋藤 とも (体育2)	ベスト8
笠 日向子 (体育2)	ベスト16

\*上記2名が全日本学生選手権出場権獲得

## 硬式庭球

### BNP/パリバ・ワールド・チーム・カップ

#### 車いすテニス国別対抗戦

船水 梓緒里 (体育4)

日本チームで出場**優勝**

### 関東学生テニストーナメント大会<本戦>

男子シングルス 田中 佑 (体育1) **優勝**

\*男子単は筑波大勢が2018年から5連覇

男子ダブルス 守谷 岳・田中 佑 (体育3/体育1)

石榑 元晴・中村 元 (体育4/体育2)

ベスト8

女子シングルス 昭井 妃奈 (体育3)

ベスト8

中山 友里 (体育1)

ベスト8

女子ダブルス 川出 莉子・吉本 菜月 (体育3/体育1)

ベスト4

## 硬式野球

### 首都大学野球春季リーグ戦(1部)

4勝7敗、第4位 (6校中)

**個人表彰:石毛 大地 (体育3) 首位打者、**

**ベストナイン・外野手部門**

## 女子サッカー

### 第36回関東大学女子サッカーリーグ戦(1部)

7試合総じて、1勝6敗0分、11位 (12校中)

### 第28回関東女子サッカーリーグ1部前期

8試合総じて、1勝6敗1分、7位

## 男子サッカー

天皇杯 第102回全日本サッカー選手権大会  
2回戦敗退 (茨城県代表で2年ぶり出場)



写真: 森田直樹 / アフロスポーツ

2回戦でJ1・柏レイソルに0-1で敗退

### 第96回関東大学サッカーリーグ戦(1部)

10試合総じて、4勝3敗3分、8位 (12校中)

## 柔道

### 全日本強化選手権大会

男子60kg級 白金 宏都 (体育1) 第3位

女子

63kg級 明石 ひかる (M1) 第3位

能智 亜衣美 (M2) ベスト8

78kg超級 米川 明穂 (体育3) 第3位

\*ベスト8以上は講道館杯の出場権獲得

### スペインジュニア国際大会

男子90kg級 戸高 淳之介 (体育2) **優勝**

### 関東学生柔道優勝大会(男子69回、女子28回)

男子(1部トーナメント) **優勝**

**優秀選手賞:田中 航太 (体育2)**

女子(5人制) **準優勝**

**優秀選手賞:久保井 仁菜 (体育4)**

### グランドスラム・トビリシ国際大会

男子66kg級 田中 龍馬 (体育3) 第3位

## 準硬式野球

### 東都大学連盟春季リーグ戦(2部)

5勝4敗1分、第2位 (6校中)

## 水泳(アーティスティックスイミング)

### FINAワールドシリーズ2022

### 第4戦オーストラリアバーチャル大会

混合デュエット

佐藤 友花 (体育3) & 陽太郎 (常総学院高3)

テクニカル**優勝**、フリー**優勝** ※姉弟ペア

## 水泳(水球)

### 関東学生水球リーグ戦(男子1部)

予選リーグ4勝2敗1分、3位

決勝トーナメント 第2位

## 漕艇

### 第100回全日本ボート選手権大会

男子ペア

磯野 洋・河野 紘人 (体育3/体育3)

757'95 第8位

男子シングルスカル

浅野 優次郎 (M2) 756'23 敗者復活敗退

## 男子ソフトボール

### 関東学生男子春季リーグ戦(2部)

3勝2敗0分、第3位 (6校中)

### 第30回関東学生男女ソフトボール選手権

2回戦敗退

## 女子ソフトボール

### 関東学生女子春季リーグ戦(2部)

3勝2敗0分、第3位 (6校中)

### 第30回関東学生男女ソフトボール選手権

第5位

\*関東第5代表として、筑波大初の全日本

**大卒選手権(9/17~19)の出場権獲得!**  
(開催地推薦枠で出場した平成13年を除く)

## 体操競技

### 第61回NHK杯体操

男子個人総合

橘 汐芽 (体育4) 248.862 第14位

長崎 終人 (体育4) 241.495 第23位

女子個人総合

深沢 ころこ (体育3) 154.896 第7位

芹田 未果子 (体育1) 152.030 第16位

男子種目別ゆか

平松 航河 (体育2) 14.033 第10位

### 第55回東日本学生体操競技選手権大会

男子団体総合

406.050 第3位

女子団体総合

261.150 第2位

男子個人総合

橘 汐芽 (体育4) 83.750 第2位

長崎 終人 (体育4) 81.450 第8位

平松 航河 (体育2) 81.000 第11位

柴田 浩佑 (体育3) 79.950 第17位

女子個人総合

深沢 ころこ (体育3) 54.750 **優勝**

芹田 未果子 (体育1) 52.100 第6位

柏木 淑里 (体育3) 51.650 第8位

堀 嶋香 (体育2) 50.000 第17位

坂谷 りんね (体育2) 49.600 第20位

男子種目別

橘 汐芽 (体育4)

ゆか4位、つり輪6位、跳馬7位、

平行棒2位、鉄棒8位

平松 航河 (体育2)

ゆか1位、あん馬5位

長崎 終人 (体育4) あん馬1位

上田 悠太 (体育1) つり輪7位

女子種目別

深沢 ころこ (体育3)

跳馬2位、段違い平行棒1位、

平均台7位、ゆか3位

芹田 未果子 (体育1)

跳馬4位、段違い平行棒3位

坂谷 りんね (体育2) 跳馬5位

佐藤 涼香 (体育4)

跳馬8位、段違い平行棒6位

柏木 淑里 (体育3) 段違い平行棒5位

### 第9回アジア体操競技選手権

男子個人総合

前田 航輝 (2020年度卒)

個人総合5位、平行棒5位、ゆか6位

橘 汐芽 (体育4)

個人総合9位、跳馬**銅**、ゆか4位

男子団体総合 日本 **銀メダル**

### 第76回全日本体操種目別選手権

男子

跳馬

内田 隼人 (D1) 14.750 決勝2位

ゆか

平松 航河 (体育2) 14.000 決勝6位

あん馬

長崎 終人 (体育4) 13.900 予10位

鉄棒

中山 怜 (体育4) 9.900 予22位



写真: 松尾 / アフロスポーツ

ゆか6位 平松航河

## 女子

## 段違い平行棒

深沢 ころこ (体育3) 14.033 **優勝(初)**  
 芹田 未果子 (体育1) 13.700 決勝2位  
 柏木 淑里 (体育3) 12.300 予14位

## 跳馬

坂谷 りんね (体育2) 12.833 決勝5位

## 平均台

柏木 淑里 (体育3) 12.633 予12位

## ゆか

柏木 淑里 (体育3) 12.133 予19位

★深沢ころこが世界体操競技選手権(10/29-11/6)の女子日本代表に選出！(写真:表紙)

## 体操(ラート)

## 世界ラート競技選手権2022

団体戦 日本 **銀メダル**

※堀口文(体育系/特任助教)、山田光穂(M2)が出場

\*2023チームワールドカップ出場権獲得

## 個人成績

堀口 文 (体育系) 直転 1位

山田 光穂 (M2) 予選:個人総合14位、

斜転 9位、跳躍23位、直転15位



団体と直転でメダルを獲得した堀口文

## 軟式庭球

## 関東学生ソフトテニス春季リーグ戦

## 男子3部

0勝5敗、第6位(6校中)、入替戦へ

3-4部入替戦敗退により、4部降格

## 女子3部

2勝3敗、第4位(6校中)、3部残留



## 卓球

## 春季関東学生卓球リーグ戦

男子1部:3勝4敗、第5位(8校中)

優秀選手賞:最優秀新人賞:田原翔太(体育1)

女子1部:2勝5敗、第7位(8校中)

## 関東学生卓球選手権大会

## 男子シングルス

田原翔太(体育1) ベスト32

三浦裕大(体育1) ベスト32

## 男子ダブルス

佐藤祐人・田原翔太(体育3/体育1)

ベスト8

鈴木 笙・三浦裕大(体育1/体育1)

ベスト16

## 女子シングルス

平川 咲(体育4) ベスト32

中田 絵梨奈(体育2) ベスト32

中田 玲奈(体育4) ベスト32

## 女子ダブルス

中田 絵梨奈・花木 愛理(体育2/体育3)

ベスト16

## 馬術

## 関東学生馬術競技大会(三大大会)

## 障害馬術競技

竹森 大貴(人文4) & カッタコマンジェラー

第21位

## 馬場馬術競技

中村 彩希(生物4) & 桐風

第34位

## 総合馬術競技

富田 雄大(工シ3) & カッタコマンジェラー

第20位

団体成績 筑波大(藤本,長尾,富田) 第8位

〈三種目総合成績〉 筑波大 第9位

## MD障害飛越競技

藤本 ゆかり(医学5) & 桐零

第5位

## トライアルEV80競技

松田至太郎(資源4) & シャンティールアラディン

第5位



竹森大貴&カッタコマンジェラー

## 男子バスケットボール

## 第71回関東大学バスケットボール選手権

第4位

優秀選手賞:浅井 英矢(体育2)

## 第62回関東大学バスケットボール新人戦

第4位

優秀選手賞:小川 敦也(体育2)



写真:アフロスポーツ

## 女子バスケットボール

## 関東大学女子バスケットボール選手権

第3位

新人賞:朝比奈あずさ(体育1)

ベスト8賞:池田 沙紀(体育4)

## 第12回関東大学女子バスケットボール新人戦

ベスト16(4回戦敗退)

## 三井不動産カップ2022(千葉大会)

バスケットボール女子日本代表国際強化試合

朝比奈あずさ(体育1) 日本代表出場

## バドミントン

## 関東大学バドミントン春季リーグ戦

男子団体(1部)2勝3敗、第5位(6校中)

女子団体(1部)3勝2敗、第3位(6校中)

新人賞:中原 鈴(体育1)

## クイーンズチームサーキット

女子団体 第12位

最優秀選手賞・大学部門:佐川 智香(体育4)

## 日本ランキングサーキット大会

## 男子ダブルス

藤澤 佳史(体育3)・永瀬 雄大(体育2)

5位

野口 翔平(体育1)・熊谷 翔(日本大)

25位

## 女子シングルス

栗原 あかり(体育3) 9位

佐川 智香(体育4) 17位

溝口 なつめ(体育4) 25位

## 女子ダブルス

栗原 あかり(体育3)・中原 鈴(体育1)

17位

大石 悠生(体育4)・神山 和奏(体育1)

17位

青木 もえ(体育2)・長廻 真知(体育2)

25位

## 混合ダブルス

鈴木 利拓(M2)・大石 悠生(体育4) 17位

写真:アフロスポーツ



男子ダブルス5位 藤澤&永瀬ペア

## 男子バレーボール

## 春季関東大学男子1部リーグ戦

9勝3敗、第3位(13校中)

## 女子バレーボール

## 春季関東大学女子1部リーグ戦

11勝1敗、第2位(13校中)

敢闘選手賞:倉田 朱里(体育4/写真左)

スパイク賞:門田 湖都(体育2/写真右)



写真:松尾/アフロスポーツ

## FIVBバレーボールネーションズリーグ

佐藤 淑乃(体育3)、井上 愛里沙(2017年

度卒)が日本代表で出場

日本女子 第7位

## 男子ハンドボール

## 関東学生連盟春季リーグ戦(1部)

8勝1敗、優勝(10校中)

最優秀選手賞:佐藤 陽太(体育4)

優秀選手賞:朝野 輝英(体育3)、

神頭 匠(体育3)、関 亮佑(体育3)、

大山 翔伍(体育2)

## 女子ハンドボール

## 関東学生連盟春季リーグ戦(1部)

6勝1敗1分、第3位(8校中)

## フィールドホッケー

## 関東学生ホッケー春季リーグ(3部)

2勝1敗0分、オープン参加のため順位無し

## ラグビー

関東大学春季大会(Bグループ)  
4勝0敗1分、優勝(6校中)

## 陸上競技

### セイコーゴールデングラプリ陸上

男子  
800m 薄田 健太郎 (M2) 1'46"80 2位  
1500m 椋原 沙紀 (体育3) 4'27"41 12位  
走幅跳 高良 彩花 (体育3) 6m26 3位

### 第101回関東学生陸上競技対校選手権

<総合成績>

男子1部 総合75点 3位  
女子1部 総合115点 2位  
男子3部(大学院) 総合37点 優勝  
女子2部(大学院) 総合11点 優勝

<男子1部>

100m 鶴澤 飛羽 (体育2) 10"32 2位  
200m 鶴澤 飛羽 (体育2) 20"77 優勝  
400m 今泉 堅貴 (体育3) 46"60 2位  
800m 二見 優輝 (体育2) 1'50"38 6位  
1500m 吉田 海渡 (体育2) 3'46"69 6位  
110mH 久保田 太一 (体育4) 14"00 5位  
400mH 菅野 航平 (体育1) 50"49 6位  
300m障壁 松村 匡悟 (体育4) 8'55"96 3位  
4x100m 桑野-池田-伊藤-田崎 40"08 8位  
4x400m 菅野-吉川-伊藤-今泉 3'06"53 5位  
走高跳 藤井 稜真 (体育4) 2m11 優勝  
大沼 一生 (理工3) 2m08 4位  
棒高跳 古澤 樹生 (体育2) 2m20 2位  
三段跳 松田 基 (体育4) 15m67 4位  
砲丸投 上内 達司 (体育2) 15m01 8位  
ハンマー 執行 大地 (体育3) 60m38 7位  
やり投 堤 洸太郎 (体育3) 66m63 8位  
<男子3部> ※大学院の部  
800m 薄田 健太郎 (M2) 1'50"49 優勝

1500m 吉川 右門 (M1) 3'57"60 優勝  
300m障壁 重山 源斗 (M1) 9'04"23 優勝  
走幅跳 内山 朋也 (M2) 7m35 優勝  
ハンマー 小林 裕季 (M1) 61m52 優勝  
やり投 池川 博史 (M2) 60m87 優勝  
<女子1部>  
100m 三浦 由奈 (体育3) 11"74 優勝  
景山 咲穂 (体育3) 11"88 5位  
200m 三浦 由奈 (体育3) 24"78 7位  
景山 咲穂 (体育3) 25"95 8位  
800m 澤井 柚葉 (体育2) 2'09"62 6位  
1500m 椋原 沙紀 (体育3) 4'16"41 優勝  
※25年ぶり大会新  
小松 夕夏 (体育1) 4'26"48 8位  
300m障壁 本庄 悠紀奈 (体育4) 10'28"28 2位  
4x100mR 高良-三浦-松永-景山 45"67 4位  
4x400mR 森-松永-澤井-川島 3'48"52 6位  
走高跳 小林 美月 (体育1) 1m74 3位  
宗澤ティファニー (体育2) 1m71 6位  
棒高跳 塩崎 泉 (体育4) 4m00 優勝  
相原 ほか (体育1) 3m70 8位  
走幅跳 高良 彩花 (体育4) 6m38 優勝  
※4連覇  
吉田 二翔輝 (体育4) 5m80 6位  
竹本 咲 (体育2) 5m69 8位  
三段跳 高良 彩花 (体育4) 12m93 優勝  
円盤投 西山 藍那 (体育3) 45m88 3位  
300m障壁 小松 真琴 (体育4) 43m15 6位  
ハンマー 渡邊ももこ (体育4) 58m30 優勝  
真鍋 綾萌 (体育4) 56m05 3位  
有波 颯妃 (体育1) 55m05 4位  
やり投 堀内 律子 (体育2) 50m78 4位  
齋藤 乃彩 (体育1) 49m95 6位  
<女子2部> ※大学院の部  
砲丸投 アヒンパレティナ (M1) 12m24 優勝  
やり投 兵藤 秋穂 (M1) 53m76 優勝  
※大会新  
七種競技 橋本 春菜 (M2) 4958点 優勝

### 第106回日本陸上競技選手権大会

男子  
200m 鶴澤 飛羽 (体育2) 20"68 4位  
800m 薄田 健太郎 (M2) 1'47"42 2位  
棒高跳 古澤 一生 (体育2) 5m40 4位  
女子  
100m 三浦 由奈 (体育3) 11"65 7位  
800m 椋原 沙紀 (体育3) 2'06"37 3位  
1500m 椋原 沙紀 (体育3) 4'21"37 12位  
走高跳 小林 美月 (体育1) 1m70 7位  
棒高跳 塩崎 泉 (体育4) 3m80 14位  
走幅跳 高良 彩花 (体育4) 6m18 2位  
三段跳 高良 彩花 (体育4) 12m88 6位  
円盤投 西山 藍那 (体育3) 46m06 9位  
アヒンパレティナ (M1) 45m46 10位  
ハンマー 渡邊ももこ (体育4) 59m13 6位  
有波 颯妃 (体育1) 53m29 13位

### 第38回U20日本陸上競技選手権

男子  
走幅跳 渡邊 希 (体育1) 7m85 優勝  
※大会新  
十種競技 若松 怜 (体育1) 5967点 11位  
女子  
1500m 小松 夕夏 (体育1) 4'25"11 4位  
市川 碧花 (体育1) 4'25"74 8位  
棒高跳 相原 ほか (体育1) 3m80 3位  
円盤投 西井 琳音 (体育1) 42m40 6位  
やり投 齋藤 乃彩 (体育1) 51m45 4位

※該当期間の試合結果多数のため、抜粋して掲載しています。全結果は以下をご覧ください。

最新の  
試合結果



つくばスポーツOnline <https://tsa.tsukuba.ac.jp/>

## 【第21回TSAトレーナーセミナー】アンチ・ドーピングの“インフルエンサー”に期待

本学の体育専門学群OBで(公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)専務理事である浅川伸氏を講師にお招きし、トレーナーやコーチなどのスタッフとして学生アスリートサポート活動を行っている学生や教職員に向けて講演をしていただいた。

ご自身もマネージャーやトレーナーとして男子バスケットボール部で活動されていた浅川氏は、「国内外の様々な事例を通して、アンチ・ドーピング活動の役割と位置づけを考える～日々のアスリートサポートに必要な現場知識と視点～」というタイトルで、特にサプリメント使用に伴うドーピング禁止違反のリスクについて、多くの事例を引用してとても分かりやすく解説してくれた。浅川氏は、大手商社勤務を投げ捨ててJADAへ転職したキャリアの方であるが、アンチ・ドーピング活動が何故重要なかを、アスリート個人の問題だけでなく、チームや地域ひいてはスポーツの価値までも揺るがすものであると、55名を超える参加者の心に熱い言葉を投げた。講演の最後には、アスリートをサポートする立場の役割の一つとして、アンチ・ドーピングの目的や正しい情報の入手方法などを広める“インフルエンサー”になって欲しい”と伝えてくれた。

質疑応答では、学生から「アスリート自身にアンチ・ドーピング意識を芽生えさせるにはどのように接すればよいのか?」などいくつも手が挙がる活発な意見交換となり、6時間後から開催という遅い時間設定ではあったが、アンチ・ドーピングへの理解が深まるたいへん有意義なセミナーとなった。



## 筑波大学内で開催・筑波大学ホームゲーム

筑波大生による筑波大生のための「TSUKUBA LIVE!」が8月に開催!

今夏 8月7日、大学スポーツ試合の新たなモデルとなる、筑波大学AD主催によるホームゲーム「TSUKUBA LIVE! \*」を、筑波大学にて開催します。

開催競技はバスケットボールと水球また、学内団体による特別パフォーマンスに加え、音と光の演出など、来場者の皆さんにとって、最高の夏の思い出になることでしょう。

\* TSUKUBA LIVE! は、「創基151年筑波大学開学50周年記念事業」です。

バスケットパフォーマンス Basketball & Performance

水球とパフォーマンス Water Polo & Performance

TSUKUBA LIVE! Summer Tuuune!

筑波大学体育館 08/07 14:00 筑波大学プール 18:00 08/07

## さまざまな領域の学生が作り上げるホームゲーム

本プロジェクトには、スポーツ競技や専攻・学群の枠を越えて「20名ほどの学生」が企画・運営の中心メンバーとして集結。「学校におけるホームゲーム構想」の実現に向け、コンセプトの設計から実務まで、学生とアスレチックデパートメントが連携し、進められています。

## イベント概要

名称：筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」  
主催：筑波大学アスレチックデパートメント  
日時：2022年8月7日(日) 14:00~19:00  
競技：バスケットボール、水球  
試合：筑波大学 vs 日本体育大学  
出演：筑波大学アイドル研究会Bombs! ほか  
入場：無料、事前申込制(筑波大学生・教職員 限定)  
H P : <https://tsukubalivesummer2022.studio.site/>



TSUKUBA LIVE!  
公式 HP

## 【陸上競技部】世界を目指しチャレンジする2選手に聞く！

5月3日の静岡国際陸上・男子800mにて、自己記録を大幅に短縮し日本歴代5位となる好記録を叩き出し、今夏の世界陸上参加標準記録に大きく近づいた薄田選手。日本選手権2位に入り、内定まであと一歩と迫る中、好記録を連発し、最後まで果敢にチャレンジし続けた。(表紙写真あり)



**薄田 健太郎さん**  
(800m/院・体育学  
学位プログラム2年)

<2022世界陸上の内定基準>  
日本選手権3位以内、且つ  
標準記録1'45"20 (期限: 6/26)

<今季の主な成績>

- ・静岡国際陸上 (5/3)  
1'46"17 2位 (日本人1位)  
★日本歴代5位、自己新
  - ・ゴールデングランプリ (5/8)  
1'46"80 2位 (日本人1位)
  - ・日本選手権 (6/12) 1'47"42 2位
  - ・ホクレンディスタンス記念大会 (6/22) 1'46"40 2位
- ※従来の自己記録  
1'48"19 (大学4年次)

ていました。そこから1人になって苦しくなっていました。が、800mのトップ選手全員で世界を目指すようなレースをすれば1'44"を出せると確信することができました。その中で世界を目指していく中心人物として、今後もチャレンジし続けたいと思っています。



大学ベストで今後に自信

続いては、5月19-22日の関東インカレで、女子走幅跳・4連覇(同種目で34年ぶり史上2人目の快挙)、三段跳との2冠を達成。陸上競技部の主将としてチームも牽引する高良選手に話を聞いた。

**高良 彩花さん**(主将/跳躍/体育専門学群4年)

一自身のセカンドベスト記録である大学ベスト(6m38)を出し、4連覇を達成されたお気持ちは？

勝ち続けることができても、記録が出ないことに対してもどかしさを感じていたので、4連覇を達成できた嬉しさもあります。が、たった数センチの成果でも「私はまだ跳べるぞ!」という今後への自信を得られたことに安堵したというのが一番の感想です。

また、特に跳躍ブロックの間には、一言では言い表せないほど感謝しています。スタンドと一緒に頑張ってきた仲間がいるだけで安心して挑むことができました。

一男女合わせて240名を超える陸上競技部。インカレアベック優勝を目指す強豪チームの主将として

このメンバーでチームとして戦うことも、私の任期も一年しかありませんが、「インカレ男女総合アベック優勝」を目指し続ける限り、この一年が来年、再来年にも繋がるように少しでも組織力・競技力の底上げができればいいなと思いついて、試行錯誤しながらチームビルディングをしています。役職柄、表に立つ機会も多いので、とにかく明るく笑顔でポジティブにしようと思っています。

一高良選手個人の今後の目標

今年中に走幅跳の自己ベスト(6m44:高校3年次)を更新することが目標です。9月には最後の日本インカレを控えているので、優勝して笑顔で終わりたいです。

また、来年以降も競技を継続するため、世界で戦える選手を目指して頑張ります。

一どのようなことが今季の大幅な躍進に繋がっている？

年明けからの冬季練習を怪我なく終えられたことが大幅な自己ベスト更新に繋がったと考えています。

これまでの競技生活は冬季で怪我をしてしまい、満足な練習が出来ずにシーズンに入ってしまったことがありました。対して今年の冬季練習は一度も怪我をすることなく継続できたことで、自分の弱点であった有酸素性能力を向上することができました。それによってレース後半も高いスピードを維持することができ、結果としてタイムも良くなったのだと考えています。

一世界選手権の切符に向け、どんな思いでチャレンジした？

前提として800m走は世界との差が大きい種目とされています。そのような種目に取り組んでいる中で、シーズンに入る前までは世界選手権のことは夢のまた夢で考えることができていませんでした。しかし、静岡国際で自己ベストをマークしてからは、日本人でも世界で活躍できることを見せたいという想いでチャレンジを続けてきました。

一今回の世界へのチャレンジを通して

自分自身が世界選手権標準記録に挑戦したことで、日本人が世界に通用しないということではなく、チャレンジの先に世界大会で活躍する日が来ると感じました。

というのも、僕はホクレンディスタンス記念大会(6/22)で600m過ぎまでは1'44"台を目指せるようなタイムで走れ

## 筑波大学スポーツサポーターの皆様(2022年4-5月にご寄附を頂いた皆様)

TSAでは、特定基金によるご寄附をお願いしております。支援先は、TSA全体、各運動部(44団体)、TSAトレーナーチーム、箱根駅伝復活プロジェクトから選択いただけます。

ご寄附いただいた皆様には、感謝の意を込めてご芳名を掲載しております。(ご希望者のみ)

村上ゆかり様 脇田建介様 渡邊遼様 阿江通良様 野呂裕樹様 ヘリヤー万紀子様 宇佐美慧様  
中川知秋様 齋藤隆様 藤田弘美様 中嶋修平様 橋本徹也様 丹羽雅之様 武内真様  
山口松太郎様 蝶間林利男様 北條梨沙様 ヘアサロンゆうき様 (順不同)

※筑波大学特定基金につきましてはTSAウェブサイト <https://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/> をご覧ください。

